

みずほCustomer Desk Report 2019/12/10 号 (As of 2019/12/09)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	108.60 AUD/USD
TKY 9:00AM	108.64	1.1058	120.10	1.3142	0.6836
SYD-NY High	108.68	1.1078	120.27	1.3180	0.6838
SYD-NY Low	108.43	1.1054	120.00	1.3132	0.6820
NY 5:00 PM	108.56	1.1065	120.11	1.3135	0.6821

NY DOW	27,909.60	▲ 105.46	日本2年債	-0.120	1.00bp
NASDAQ	8,621.83	▲ 34.70	日本10年債	-0.010	0.00bp
S&P	3,135.96	▲ 9.95	米国2年債	1.6171	▲ 0.09bp
日経平均	23,430.70	76.30	米国5年債	1.6569	▲ 0.98bp
TOPIX	1,722.07	8.71	米国10年債	1.8199	▲ 2.25bp
シカゴ日経先物	23,375.00	▲ 155.00	独10年債	-0.3085	▲ 2.00bp
ロンドンFT	7,233.90	▲ 5.76	英10年債	0.7620	▲ 0.80bp
DAX	13,105.61	▲ 60.97	豪10年債	1.1620	4.00bp
ハンセン指数	26,494.73	▲ 3.64	USDJPY 1M Vol	5.08	0.18%
上海総合	2,914.48	2.46	USDJPY 3M Vol	5.68	0.06%
NY金	1,464.90	▲ 0.20	USDJPY 6M Vol	6.06	0.07%
WTI	59.02	▲ 0.18	USDJPY 1M 25RR	-1.10	Yen Call Over
CRB指数	181.17	▲ 0.02	EURJPY 3M Vol	5.83	▲ 0.05%
ドルインデックス	97.64	▲ 0.06	EURJPY 6M Vol	6.29	0.01%

東京	東京時間のドル円は108.64レベルでオープン。高く寄り付いた日経平均株価が上げ幅を縮小させる中、ドル円も108.55まで下落した。しかしその後は新規材料に乏しく、狭いレンジでの推移となり、結局108.58レベルで海外時間へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、108.58レベルでオープン。特段材料はなく株式市場も小幅な値動きとなったことから、108.43-108.60のレンジ内での推移となった。結局、108.46レベルでNYに渡った。ホントドルは1.3160レベルでオープン。先週金曜日のジョンソン首相と労働党コービン党首の党首討論を終えても情勢は変わらず、ロンドン時間朝方はホント買い優勢な展開。一時1.3180まで上昇するも、上値を追うには材料不足で1.3152レベルでNYに渡った。(ロンドン・メール 00531 444 179 永井)
ニューヨーク	海外市場のドル円は、手掛かり材料が乏しい中、108円台半ばの狭いレンジで推移し、108.46レベルでNYオープン。朝方は米経済指標の発表も予定されていない中、海外時間の流れを引き継ぎ、小幅な値動きとなる。午後にかけて、じりじりと108.68まで上昇する場面もあったが、週後半にFOMC、ECB理事会、英総選挙等の重要イベントが控えているほか、12月15日に米国の対中追加関税の発動を巡るヘッドラインが警戒される中、様子見ムードは強く、そのままだ向きの無い推移が続き、108.56レベルでクローズ。一方、ユーロドルは1.1077レベルでNYオープン。特段の材料が見当たらない中、朝方は持ち高調整の売り等を受けて、海外時間の上昇分を全て失う展開となり1.1055をつける。午後は様子見ムードが強い中、1.1060辺りで小動きとなり、1.1065レベルでクローズ。本日、米国のトランプ政権と下院民主党が米国・メキシコ・カナダ協定(USMCA)で暫定合意に達したと伝わったものの、ドル円やユーロドルの反応は限定的だった。

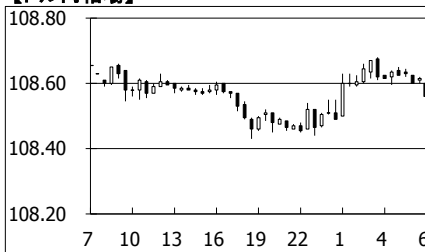
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
12月9日	08:50	日 GDP(季調済/前期比)・確報	3Q 0.4%	0.2%
	08:50	日 GDPデフレーター(前年比)・確報	3Q 0.6%	0.6%

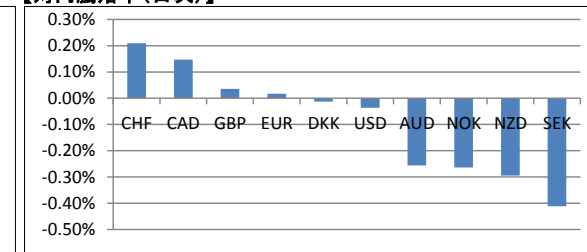
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
12月10日	09:30	豪 住宅価格指数(前期比/前年比)	3Q 1.5%/-4.6%	-0.7%/-7.4%
	09:30	豪 NAB企業景況感	11月 -	3.0
	09:30	豪 NAB企業信頼感	11月 -	2.0
	10:30	中 CPI(前月比/前年比)	11月 -1.5%/4.3%	-1.6%/3.8%
	18:30	英 鉱工業生産(前月比/前年比)	10月 0.2%/-1.2%	-0.3%/-1.4%
	18:30	英 製造業生産(前月比/前年比)	10月 0.0%/-1.4%	-0.4%/-1.8%
	19:00	独 ZEW調査指数(現状/期待)	12月 -22/0.3	-24.7/-2.1
	19:00	欧 ZEW景気期待指数	12月 -	-1.0

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【マーケット・インプレッション】 トランプ劇場継続中。

最近お客様との会話でよく出てくる言葉は「トランプが大統領になってから、結局は見事なレンジですよ。」仰せの通り、トランプ大統領に弄ばれる相場継続中である。円安進行時は、日本に対する通貨安誘導批判、Fed批判、米中貿易交渉激化懸念を醸成するようなコメントを発することで米金利上昇、ドル高を抑制。円高進行時は、米株高こそが生命線の彼はリスクオンの材料を提供し株安が反転。トランプ氏が大統領であり続ける限りは、急激な相場変動はあれど、変動幅はレンジ継続、と予想する。11月、米年末商戦を控え消費者心理を高めるべく株高醸成に努めたトランプ氏の戦略は見事成功し、米株は連日史上最高値更新。ブラックフライデーのオンライン売上高、サイバーマンデー初日の記録はいずれも過去記録を更新。実店舗売り上げも悪くはなく、年末商戦の総売上は昨年対比4%増加の見込み。このようなめでたい状況下では、トランプ氏は15日の対中追加関税は一旦発動してマーケットを不安に陥れた後に米中交渉一部合意といった展開に持ち込み、米株上昇を印象付けるとともに、米国民の支持率を確保しようとするのではないだろうか。今年も残すところあと約3週間。足元の円ショートの積み上がりをもとに、一旦はリスクオフの株安・円高波乱が起きるリスクは覚悟しておいた方がよいだろう。しかし、その後リスクオン相場をもたらす可能性は高く、焦る必要はないと考えている。東海岸や西海岸でトランプ大統領に対する嫌悪感を口にする者は多い。しかし、「次期大統領は誰がよいと思う？」との質問に対し口ごもってしまうのも事実。トランプ大統領に代わる候補者がいない限りは、トランプ劇場継続だろう。つまりは、トランプレンジも継続。唯一懸念すべきは、トランプ米大統領失望を狙う中国が、米大統領選数週間前に米中貿易交渉に関するfatalな爆弾を落とすリスクぐらいではないだろうか。好き嫌いは別ではあるが、改めて、トランプ、あっぱれと感じる次第。(たさかまりえ)

■今週のドル/円 見通し

田中	竹内	筒井	加藤	関	光石	山岸	田坂	尾身	上野
ベア	ベア	ブル	ブル	ベア	ブル	ベア	ブル	ブル	ブル
岡本	小野崎	玉井	原田	大庭	高村	松本	逸見	大谷	谷舗
ブル	ブル	ベア	ベア	ブル	ブル	ベア	ブル	ベア	ベア

ブル	ベア
11	9

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。